

食 高千穂高校 12/23 育で中学生と交流

高千穂高校生産流通科3年の野菜部門3人が、高千穂中学校を訪問し食育活動を行いました。この活動は、生産した野菜を給食の食材に提供するなどし、地産地消や食の大切さについて意識の向上を図る目的として、5年前より取り組んでいます。今回は、配膳の様子や



校内放送を利用して食の大切さを話した後、各クラスの代表者と一緒に給食を食べました。



書 高千穂高校書道部 12/21 道家との交流

高千穂高校書道部と書道家永山玳潤^{たいしゆん}さんが交流を行いました。永山さんは、22歳で雅号を取得され、伝統を重んじた本格派書道として活躍されており、12月21・22日に開催の「天岩戸神社注連縄張神事」で行う奉納揮毫のお手伝いを同書道部にお願いしたことがきっかけとなり実現。交流では、部員それぞれが得意な書体で氏名を書き、バランスなどの指導を受けました。部長の甲斐暉奈^{ひな}さんは「初めて本格的な書道家の方に指導してもらいとても光栄でした」と話しました。



土 オンライン学習 12/2 呂久地区の学習発表

上野中学校3年生が、高千穂高校のT-LABOを利用し、五ヶ瀬中等教育学校と高千穂中学校を結んだオンライン学習を行いました。

上野中学校では、校外学習として、かつてヒ素鉱害のあった岩戸の土呂久地区を訪れ、地区の人に話を聞いたり鉱山の坑道跡を見学などを行っており、今回、その成果を発表しました。コーディネーターの宮崎大学川原一之客員教授は、「土呂久を見ることが大切」と話しました。



川原 客員教授

バ たくさん乗ろう 12/13 スの乗り方教室

上野小学校の1・2・3年生を対象に、バスの乗り方教室が行われました。教室では、車いす利用者の乗車方法やバスの機能等について説明を受けた後、実際にバスに乗りし学校を出発。国見ヶ丘や高千穂神社を巡るなどして、乗り降りの仕方やマナーなどを学びました。



冬 ゆい高千穂事業 12/27 休み学習教室

九州保健福祉大学の学生、高千穂高校の生徒、退職教職員などのボランティアによる学習会が、町休養村管理センターほか3会場において行われました。主に冬休みの宿題を持参した子どもたちは、積極的に手を挙げて質問をしたり、ボランティアの方たちが悩んでいる子どもを見つけると優しく声を掛けるなど、午前中の約3時間を利用し学習に取り組みました。



職 高千穂高校生 12/21 職場体験で取材

高千穂高校1年の土田凜^{りん}さんがインターンシップとして企画観光課を訪れ、広報の仕事を経験しました。

取材では、初めて持つカメラに緊張しながら写真を撮っていました。

公務員を目指しているとのことなので、しっかり勉強して夢を実現してください。がんばれ土田くん!!

書道家との交流と天岩戸神社注連縄張神事の取材に出向き、写真を撮ってもらいました。今回は、その一部を使用しています。



熊 留学生と交流 12/2 本大学高千穂塾

高千穂高校に、熊本大学のグローバルリーダーコースの学生や留学生が訪れ、熊本大学高千穂塾が行われました。この交流は、平成29年度より地域教育の活性化や国際化の推進を図るために実施されているものです。

今回は、学生による学校紹介、同コースへの志望理由や高校生活でのアドバイスを聞いた後、高

千穂峡や高千穂神社などを観光。留学生には、英語で観光案内をするなどし、交流を深めました。



九 出前講座 12/7 州中央自動車道

高千穂中学校の3年生を対象に、国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所による出前講座が行われました。講座では、道路の大切さや九州中央自動車道の利便性などを学んだ後、九州中央自動車道高千穂雲海橋道路の中心杭打ち式にて使用されるメッセージの撮影が行われました。

